

玉松操 （幼少時） 國學者。文化七年二月十七日京都生れ、明治五年一月十五日歿（二八〇一七）。舊姓山本、諱真弘、僧名猶海、前名山本被野、號二青、深青、重信、重誠等。大國隆正等、國學者也。還俗して私塾を開き子弟を教授。慶應二年岩倉真視を知り、腹心として王政復古詔勅案を執筆。維新後新政府に出仕し、開明方針と合はず退官。

文獻、伊藤武雄著 （復古の） 碩師「玉松操」全二冊（上）毎版・昭和九年十一月五日、下）毎版・十七年六月二十日金雞學院「人物研究叢刊」等。